

ナカログ

Winter
2011
Vol.33



2・3p

講座・イベントリポート

なか区民活動センター祭り “みんなでつながる市民活動”
日本語ひろば「第1回 日本語スピーチを楽しむ会」

4・5p

が ら が ら
学・楽・学・楽ぽんっ！活動の達人にインタビュー
杉澤 勝廣 “多文化共生社会のために私ができること”

6・7p

活動団体紹介

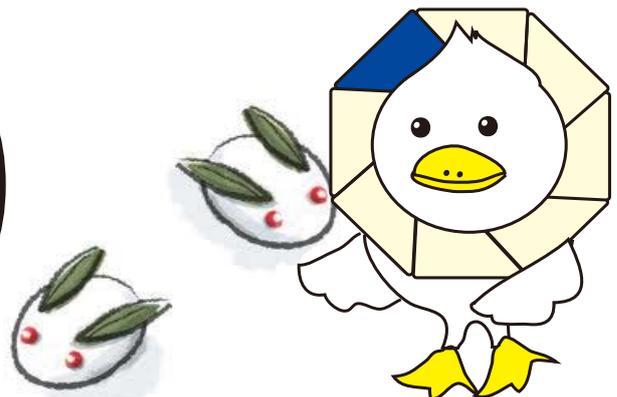
横浜再発見の会・ハートフィールド
中区活動団体補助金交付団体
PCはまかぜ、Y150たまぐす会、ジャックサポーターズ
CHANNEL CREAM、リンクスタイル、中区絵本プロジェクト

8・9p

臨時休館日 3月24日(土)

9時～13時

施設点検のため、臨時休館します。
ご迷惑をおかけします。
ご理解・御協力をお願いします。



もなか
なか区民活動センターのマスコット

なか区民活動センター祭り ～みんなでつながる市民活動～

開催日時：2011年10月9日（日）10:00～15:00

会 場：なか区民活動センター



なか区民活動センター祭りは「つながり」をテーマに、横浜公園・日本大通で開催された中区民祭り「ハローよこはま2011」と同日開催しました。当日は晴天に恵まれ、昨年を上回る多くの来場者で盛り上がりました。今年のセンター祭りでは初めて企画委員会を立ち上げ、テーマや装飾・PRの方法、各団体の出展スペースの調整など活発な意見交換を行い、準備・運営を行いました。当日の出展は18団体と多くの参加がありましたので、出展内容に応じて出展スペースに柔軟性を持たせ、前日準備や当日の受付等も企画委員をはじめとする参加団体とセンター職員が協力して行い、みんなで作り上げるお祭りとなりました。また受付にはパネルに貼った模造紙を掲示し、来館された方々にシールを貼っていただき、来館者数が一目でわかるようにすることで、より盛り上がるよう工夫しました。



建物の壁面を、マスコットの「もなか」の絵や風船で飾り、入口ではシャボン玉を飛ばして、呼び込みを行いました。また、今回出展していない登録団体とのつながりを目的に、ハガキに団体の紹介を描いていただき、掲示しました。

参加団体からは、「大盛況で、うれしく、楽しい一時をいただきました。できれば、来年も参加したい。」「いろいろ活動をしている他団体の方たちと触れ合えて良かったです。」などの声を頂きました。

企画委員会からの感想として、「企画委員会を立ち上げたことで、昨年の反省や委員の意見を踏まえて運営できたことは、良かった。今後は企画委員会の活動を、外向きに発信できると良い。」「どの程度来館者が入るかとても不安でした。でも始まってみると色々な方が、来館していただき良かった。」などの声をいただきました。

(担当：佐藤)

日本語ひろば

第1回 日本語スピーチを楽しむ会

開催日時：2011年10月25日（火）

会場：なか区民活動センター 研修室



今年は日本語ひろば誕生から5周年にあたります。日本語ひろばは2007年の秋に第1回目の日本語ボランティア養成講座をなか区民活動センターで開催し、その修了生でスタートした日本語教室。その後2度にわたる当センターの養成講座や、日本語教師養成講座の修了生などで構成されています。毎週火曜日の午後と夜間になか区民活動センターにおいて外国人に日本語を教えています。

外国人登録人口が区人口の1割をこえる中区では、外国人支援は重要な課題であり、「生活者としての外国人」に生活に必要な日本語を教えるためボランティアが積極的に活動しています。日本語ひろばでは、5周年を記念して、10月25日に「第一回 日本語スピーチを楽しむ会」を開催しました。午後と夜間の2回開かれ、それぞれ5名の学習者が「私の母」「日本での暮らし」などをテーマにスピーチ発表を行い、日頃の学習の成果を発揮しました。また、ビデオ発表での参加者もいました。発表者には日本語ひろばの代表から賞状を授与され、良い思い出になったことと併せて学習意欲がさらに高まったことと思います。スピーチの合間には中国琴の演奏もあり、予想以上の盛り上がりでボランティアの皆さんは喜びの顔を隠せませんでした。午後と夜間それぞれ40名以上の入りで会場の研修室は熱気にあふれていました。

そして日本語ボランティアの桑原先生から「言葉の力」というテーマで特別スピーチをいただき、最後にお茶とお菓子を片手に交流ティータイムでボランティアと学習者、あるいは学習者どうしの親睦を図りました。参加者のなかには、次回の「スピーチを楽しむ会」を期待しているという意見があり、ボランティアにとっては嬉しい悩みがうまれたようです。日本語ひろばは、この「スピーチを楽しむ会」により単なる



日本語教室だけではなく、さらに、広く文化交流的な活動にも関心を持つきっかけになり、また、ボランティアと学習者のコミュニケーションの向上に貢献できたという確信を得たことでしょう。

(担当：牧野)

横浜再発見の会 ハートフィールド

登録 No. なか -113C 代表/酒匂 景寿

昨年立ち上げたばかりの団体です。特にウォーキングによるガイドなど、横浜の隠れた名所をご案内してきました。歴史を中心としたガイドやイベントなどは、他にも行っている団体があり、非常に激戦かなと感じますが、私たちは少人数ということもあり、小さな、小回りの利く活動を企画してきました。団体の資金面では、なか区民活動センター(中区役所)の中区活動団体補助金を活用して、名刺作りやチラシの製作などもできるようにな



りました。また、なか区民活動センターで様々な分野の方を紹介してもらうことで、ワールドカフェや、代理店を通しての大規模なツアーの展開など、様々な企画・運営もでき、非常に助かりました。今後もセンターを上手く活用して、PRや宣伝など行い、事業の拡大ができればと思っています。

中区活動団体補助金とは？

中区では、中区内で自立的に地域の課題解決に取り組む活動の振興を目的とした「中区活動団体補助金」を交付しています。グループの状態に合わせて、活動を支援するスタートアップコース、事業を支援するパワーアップコースの2種類があります。

< 補助金概要(平成23年度実績です。予告なく変更することがあります) >

○コース

- ・スタートアップコース(平成22年度:7団体交付、平成23年度:7団体交付)

金額:5万円以内(補助金は補助対象経費の1/2)

条件:結成から4年以内で、区内で活動する3人以上の団体(法人不可)

- ・パワーアップコース(平成22年度:5団体交付、平成23年度:交付団体なし)

金額:10万円以内(補助金は補助対象経費の1/2)

条件:過去3年以内に横浜市から補助金を受けていない。区内で活動する3人以上の団体

○対象

まちづくり、環境、こども、国際交流などをテーマとした公益的な事業及び活動

中区活動団体補助金交付団体の紹介

中区絵本プロジェクト

代表 / 宇都宮 日美

事務局長 / 布川 榮子

中区内で、子育て支援や絵本の普及啓発をテーマに活動してきた団体が連携し「中区絵本フェスティバル」を開催しました。その開催を目的としてできた組織が中区絵本プロジェクトです。様々な施設で単独に活動してきたメンバーが、官・民を問わない多くの施設の協力のもと、絵本をキーワードとした子育て支援事業を同時期に開催しました。中区の補助金



を得て事業全体の案内リーフレットを作成、イベント紹介とともに会場となる市民利用施設案内も掲載し好評を得ました。多くの団体、施設が連携することによる事業の広がりを実感しました。次年度は、もっと多くの施設に参加を広め、絵本による人の絆の輪を広げたいと思います。

PC はまかせ

登録 No. なか -039C 代表/河野 千恵子

パソコンを通し地域活動を支援するボランティア活動及び自己のパソコン技術の向上を目指すことを目的として、平成20年からパソコンジムトレーナー養成講座受講者や本会の目的に賛同する個人で形成されています。「パソコン初めて講座」を年数回実施し、参加者からは喜ばれています。

Y150 たますく会

登録 No. なか -038B 代表/野田 眞利

開国博 Y150 のボランティア OB で構成・結成され、2年目を迎えました。まだ団体としては板についたものではありませんが、清掃活動を軸にボランティア活動に積極的に参加し、親睦会も定期的に実施しています。

ジャックサポーターズ

登録 No. なか -017B 代表/宇草 圭司

横浜三塔の一つ「ジャック」の愛称で親しまれている横浜市開港記念会館は、煉瓦造りの時計塔はもちろん、館内には素晴らしいステンドグラスや絵画があります。私達はそこでガイドをしています。見学者の方に喜んでいただけるように、また会員は楽しみながら「ジャック」と「横浜」を紹介しています。

中区活動団体補助金交付団体の紹介

CHANNEL CREAM 登録 No. なか -074B 代表/相澤 美紀子、草野 美加

私たちは、ヨコハマ国際映像祭2009での番組づくりを継承しています。一般市民の誰もが自由に参加できる市民放送局。インターネット放送を使って、市民目線で横浜の地域資源を発信しています。一緒に番組を企画したり、番組内で活動の紹介をしてくれる仲間をお待ちしています！

URL: 団体 <http://c-tv.jp/tv/cc>

リンクスタイル

登録 No. なか -032B 代表/井上 龍登志

「情報化の支援」で、最終的にITに限らず「情報発信などを自立して行う」事を、様々な形でご支援します。情報発信や情報化に関することを柔軟にご支援致しますのでお気軽にご相談ください。出張での講座等もご相談にのらせて頂きます。例:「インターネットのセキュリティを学びたい」「ホームページを企画したい」「書類を電子化したい」



補助金交付団体からの声



補助金交付団体へのアンケートでは、補助金を受けることで、金銭的に余裕ができ、充実した活動ができるようになったという意見を多くいただきました。また、金銭面だけではなく、なか区民活動センターを活動拠点として活用したり、※月に一度実施している中区区民利用施設へのチラシのまとめ発送をPRの手段として活用している団体もありました。

※中区区民利用施設へのチラシのまとめ発送は補助金交付期間中のみ利用可能です。



「なかく街の先生」講座のご案内！



中区多文化体験講座 ～外国人「なかく街の先生」と一緒に

外国の歌と食を体験しよう

1. 歌を通して中国語に親しみます。

講師：張 珂

日時：2月11日（土）13:00～14:30

場所：竹之丸地区センター 工芸室

定員：12名

参加費：無料

2. 本格的タイ料理を楽しもう！

講師：キツチャック ナロン

日時：2月19日（日）11:00～13:00

場所：野毛地区センター 調理室

定員：12名

材料費：500円



問い合わせ先・申込先：なか区民活動センターまで

TEL：045-224-8138 または E-mail：na-katsudou@city.yokohama.jp

センターからのお知らせ

中区中学校書き初め展

会場： 中区役所 1階 パピポ広場
会 期： 1月27日(金)～2月2日(木)
(区役所開庁時間帯、但し、2月2日は午後4時まで)
展示作品： 中区内市立中学校6校の優秀作品18点

団体登録の更新手続き等

なか区民活動センターで22年度(2010年4月1日～2012年3月末日)に登録された団体は、3月末で団体登録証の期限が切れます。登録更新の御案内を後日お送りしますので、手続きをお願いします。また、貸ロッカー、貸レターケースも3月末で期限が切れます。御案内の書類を後日お送りしますので、手続きをしてください。

なか区民活動センター登録団体の皆様へ 団体登録証の携帯をお願いします



なか区民活動センター窓口で研修室の予約をされる際、また貸ロッカーの鍵をご利用になる際、こちらから団体登録証の提示をお願いすることがあります。団体登録証は各団体1枚ずつしかありません。予約作業をされる方は登録証もしくはコピー(登録証の表・裏面をコピーしてください)を、窓口にご提示くださいますようお願いいたします。

なか区民活動センター 施設利用のご案内

中区民や横浜市民の自主的な活動(市民活動・生涯学習・地域活動など)をサポートする施設です。

開館時間

午前9時～午後9時

休館日

毎月第4月曜日
(祝・休日の場合は
翌火曜日)
年末年始

施設の利用について

中区民・横浜市民の自主的な活動(市民活動・生涯学習・ボランティア活動・地域活動などの公益的な活動)にご利用いただけます。研修室や一部の設備の利用には団体登録が必要です。

利用登録

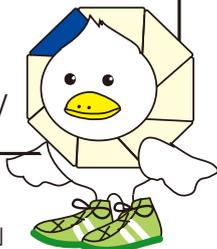
研修室・ミーティングエリア・印刷室の予約、貸ロッカー・レターケース、貸出機材を利用する場合は利用登録が必要です。登録申請にはセンタースタッフとのヒアリングや審査があり、少々お時間をいただきます。



「ナカログ」はバックナンバーも含めて、なか区民活動センターのホームページでもご覧いただくことができます。

なか区民活動センター ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/ncac/>

なか区民活動センターマスコット「もなか」



「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行/なか区民活動センター編集室

問 合 せ/なか区民活動センター(中区地域振興課) TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343

〒231-0021 横浜市中区日本大通 34

E-mail: na-katsudou@city.yokohama.jp